



春には満開の桜や水芭蕉、
初夏にはあじさいの花と蛸
そして夏には青々と茂る夏草を
秋には坂戸山の紅葉を楽しむことができ
時期によって様々な花を觀賞できるのが銭淵公園。

五感で季節を感じながら自然の中にのんびり溶け込める場所。
それにしても「ぜにぶち」ってちょっとおもしろい名前。
気になりませんか？

この公園のすぐ後ろにそびえる山こそ、
東京スカイツリーと同じ高さの坂戸山。

戦国時代に長尾政景や上杉景勝、直江兼続の居城として名高い山城「坂戸城」
この坂戸城の外堀となっていた魚野川が、坂戸山の山裾とぶつかり
大きく蛇行し、渦巻いたところが現在の「銭淵」と呼ばれる池。
そもそも、長尾政景が存命の頃には「野田尻ヶ淵」もしくは「野尻池」と呼ばれていました。

坂戸城主が溺死したのはこの池だったという説もあります。
城主亡き後、供養のために集まった人々が
この淵に六道銭を捧げたと伝えられており
そのことが「銭淵」の名前の由来になっています。

これが本当ならば戦国時代の銭がこの公園のどこかに眠っているのね？
ロマンだわ～(笑)

この銭淵公園では南魚沼の歴史や文化にも触れることができます。
この公園は、平成8年に当時、町営公園として整備された日本庭園。
石張りの趣のあるお堀を越えて中に入ると、
四季折々の花が迎えてくれます。

中央に池を配した庭園には、遊歩道や芝生広場などがあり
親子連れなどで賑わい、子ども達の可愛い笑い声が響きます。
池の周りを一巡できる遊歩道には
美しい四季折々の花が咲いて、本当に綺麗。

とくに私が好きなのはここの桜。
ソメイヨシノにしだれ桜、約100本もの様々な桜の木と芝桜と
タムシバやこぶしが一斉に花を咲かせる様は、まさしく春爛漫。
お花見スポットとしてオススメです。
ストレス解消、リラックスできる環境が、あちらこちらに。
私は、少し肌寒い春の日に、ここでのんびりするのが好き。
今では、郷土が誇る若き日の二人の英雄が皆様を
お迎えいたしております。

